

中学校3年生の夏休みは極めて重要です！

● 三者面談

既に実施しているクラスもありますが、1学期を振り返って、生活・学習などの課題を明らかにしたり、進路希望の確認をして、今後の努力点について話し合い、担任からアドバイスをを行います。

● 親子で進路について話し合う絶好の機会です。

1学期の通知表を見たり、三者面談に参加して、改めて今後の課題や目標、対策、夏休みの計画について親子で話し合ってください。また、体験入学に参加したり、会場模擬テスト（例：進研Ⅴもぎ、総進Ⅴもぎ）も受けるなどして、進路希望について検討し、**第2回進路希望調査（進路ノートp.44）**を記入し、**9月1日（2学期始業式の日）**に担任まで提出してください。

● 第2回実力テスト 8月29日（金）着席完了 7：50 服装：きちんとした制服

夏休みの勉強の成果を試すテストです。

テスト開始 8：00～ 国・数・英：50分間 理・社：45分間

終了・下校 12：40 持ち物：上履き、筆記用具、コンパス、定規、水筒 ※弁当不要

● 夏休み中の体験入学・学校説明会等の参加について

1. ねらい・目的

実際に足を運んで、自分の目や耳で学校の説明、校舎内や部活動の状況を見聞き、模擬授業や部活動を体験することによって、本やパンフレットではわからない生の情報を得るため。〔自宅からの交通の便、学校の近くの環境、校内の施設・設備、学校の特色や雰囲気、校風、先生方や在校生の様子、部活動の状況、その学校がめざしていること・力を入れていること、学習内容・カリキュラム、学校行事、進路状況や進路指導、入試の内容や方法など〕

2. 留意点

- ①少なくとも3校以上は行ってみる。→ 比較できる。各学校の特色がわかる。選択の際の視点を持てる。
- ②同じレベルの学校ばかりではなく、「挑戦校」・「実力相応校」・「安全校」というように、レベルの異なる学校を見学することも重要。
- ③公立と私立、共学校と女子高・男子校、普通科と専門学科のように異なる種類の学校を見学してみる。
- ④体験入学・学校説明会の機会が夏休みにしかない学校もあるので、この機会を逃さずに、参加する。
- ⑤複数の学校の開催期日が重なっている場合は、どちらかを2学期以降に回す。（別に見学に行く）
- ⑥できるだけ親子で見学すると良い。学校選びは本人だけでなく、保護者の目も大事。保護者が行けない場合は、体験入学の感想等をその日のうちに保護者に話してください。

3. 事前準備

- (1) 高校の電話番号、所在地（住所）を調べ、生徒手帳にメモしておく。
- (2) 行き方を調べる。（交通手段、所要時間、交通費、最寄りの駅やバス停、雨天時の行き方など）
自転車で行く場合は十分に安全に気をつけて行ってください。二人乗りなど絶対にしないように。
- (3) 持ち物を用意する。

四中バック、**体験入学や説明会の案内文書（7月18日に配布）**、上履き（いらない学校もある）、腕時計、筆記用具、生徒手帳、進路ノート、テレホンカード、その他必要なもの

(4) 頭髪、服装等を整える。 卒業式など儀式のときや、先日の進路集会と注意事項は同じ。

服装 正しい四中の制服 「きちんと着る。はく。つける。結ぶ。」

男子：Yシャツ、ズボン、黒い普通のベルト、短くない白の靴下、運動靴

女子：ブラウスカYシャツ、ネクタイ、校章、短くないスカート、短くない白の靴下、
運動靴かローファー

頭髪等 頭髪の長さ・髪型・髪色、眉毛、つめなど注意。

4. 注意事項

- ・鎌ケ谷四中の代表生徒の意識を持つ。 「遊び半分」や「友達の付き合い」で行かない。
- ・遅刻や無断欠席をしない。「参加申込書」を提出した学校は、四中から高校に生徒氏名などを記入して参加申込のFAXを送っているので、無断欠席は信用問題となる。**何らかの理由で参加できなくなった場合は、小林先生など3年の先生に連絡**してください。(四中047-444-2185)
- ①四中に電話が通じない場合や②3年の先生が不在の場合、③遅刻してしまいそうな場合は、高校に直接電話してください。
- ・時間に余裕を持って行くようにする。(公衆電話の場所などを確認しておくともいい。)
- ・体験入学や学校説明会は入試や面接のときと同じ。中学生にとって高校を知る進路情報収集の機会であるが、**高校側にとっても受験する可能性のある中学生の状況を知る情報収集の機会**です。
- ・体験入学で初めてその高校に行く中学生がほとんどのため、高校の先生方が校外や最寄りの駅・バス停に立っていることはむしろ普通。つまり、校外でも君たちは見られているということ。
- ・服装(身だしなみ・着こなし)・頭髪など外見や第一印象はきわめて重要。さらに、挨拶・返事・言葉づかい、姿勢、聴く態度などもとても重要です。
- ・体験入学が終わったら、まっすぐ帰宅し、**進路ノートp26～30**(5校分ある)に記録を記入する。これは夏休みの宿題です。6校以上訪問するため記録用紙が足りない人は申し出てください。また、保護者に体験入学の様子や感想を報告し、進路希望先の検討を親子で行い、夏休み中に**第2回進路希望調査(進路ノートp44)**に記入して、**9月1日**に両方とも提出です。

学校見学を生徒本人が電話で申し込む場合のやり方 「進路ノート」p.25の下(5)

生徒「もしもし、〇〇高等学校ですか。私は鎌ケ谷市立第四中学校3年の〇〇と申します。貴校の見学をしたいと思い、電話しました。」

高校「わかりました。担当と代わります。」 (すぐに担当の方が出るとは限らない)

生徒「お願いします。」

↓

高校「学校見学の担当の者です。ご用件をおしゃってください。」

生徒「こんにちは。鎌ケ谷四中の3年生の〇〇といます。□月□日か□月△日の午後〇時頃、貴校の見学をしたいのですが、ご都合はいかがでしょうか？」

高校「申し訳ございません。その日は両日とも学校が休みになっております。」

生徒「そうですか。では、見学が可能な日時を教えてください。」

高校「〇月〇日から〇月□日までの午後1時以降はいかがですか？」

↓

生徒「では、〇月〇日の2時以降でお願いします。」

高校「わかりました。〇月〇日の2時にお待ちしております。」

生徒「よろしくお願いします。ありがとうございました。 さようなら。」

または、

- ・「〇月〇日から〇月□日までのスケジュールを確認して、再度電話をかけ直します。」
- ・「その日は都合がこちらの都合がつかないので、他に見学可能な日があったら教えてください。」など